

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 241

事業名	遺族会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	社会福祉総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】			
	施策目標	地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる			

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市遺族会(戦没戦災者及び戦争犠牲者の遺族)			構成人数(人) 1,505	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 戦争犠牲者を共に慰め、会員相互の親睦と生活活動を共に励まし、互いに助け合い、自主的団結力を以って如何なる戦争をも排除する。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		戦没者追悼式共催・各分会において忠魂碑の清掃及び慰霊祭の開催。戦没者遺族の援護相談等。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
		戦争犠牲者を共に慰め、会員相互の親睦と生活活動を共に励まし、互いに助け合う。市遺族会組織及び市内19分会で活動。				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (福祉課) <input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )		
補助金算出根拠	会議費250千円・事業費1,927千円(戦没者追悼式・慰問・研修等経費)					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 遺族会活動事業経費として調整を行なった。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	2,177	2,177	2,177	2,050
	遺族会補助金	2,177	2,177	2,177	2,050
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,177	2,177	2,177	2,050
	人件費(正規職員)[B] (千円)	921	897	903	903
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30	30
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	3,098	3,074	3,080	2,953
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	2.1	2.0	2.0	2.0
受益者人数(1,505)一人当り経費(千円)	2.1	2.0	2.0	2.0	
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 遺族会による高齢化する会員の交流や生活支援相談等を実施していることは、遺族への福祉向上の効果がある。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 遺族会が実施している戦没者遺族の生活相談、分会慰霊活動等を支援することにより、高齢化している遺族の福祉向上を図るため必要である。	自己評価 (5点評価)
		3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 会員の高齢化が進む中、恒久平和を願う団体として組織強化を行っており、市として援助することは、適当であると考え。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果      必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	戦没者の遺族等は減少しているが、団体の目的としては、今後も必要である。	同左
(現状維持以外の改善方法)	今後とも経費節減の上、継続して会の運営に努める。	同左
改善によって期待される効果	活動は継続しつつ予算節減となる。	同左
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 南あわじ市内の戦争犠牲者の遺族として活動しており、市の援護体制が問われる。	